

## 奥多々良木地下発電所

施設管理者 : 関西電力(株)  
 施設所在地 : 兵庫県朝来郡  
 調査見学時期 : 平成 8 年 11 月 14 日

### 施設概要

兵庫県の市川と円山川の分水界一帯の地形的特徴を利用して建設する地下揚水式発電所で、有効落差は最大 387.5m である。既設発電所 (121.2 万 kW) に加えて新たに 72 万 kW を増設し、合計出力 193.2 万 kW と国内最大の揚水発電所となる予定である。

写真は、増設発電所空洞内の施工中のもの(平成 8 年 11 月)で、空洞長さ 130m、幅 25m、最大高さ 47m である。

【発電計画(既設)	(増設)】	【調整池】
出力 : 121.2 万 kW	72 万 kW	上部調整池(黒川ダム)
30.3 万 kW × 4 台	36 万 kW × 2 台	ロッキルダム(総貯水量 : 3,329 万 m <sup>3</sup> )
使用水量 : 376 m <sup>3</sup> /sec	218 m <sup>3</sup> /sec	下部調整池(多々良木ダム)
有効落差 : 383.4m	383.4m	ロッキルダム(総貯水量 : 1,944 万 m <sup>3</sup> )

